



由布岳山開き祭



湯平温泉まつり



ゆふいん温泉まつり



修親会ボランティア清掃



納涼大会における由布高校の神楽



着泳訓練



新隊員等特技課程教育



特科隊ラッパ競技会



三宅 優

西部方面特科隊長  
兼 湯布院駐屯地司令

# 湯布院

第56号

発行・湯布院駐屯地後援会  
印刷所・大野印刷株式会社

今年度前半を  
振り返って！



駐屯地の隊員がSPAマラソン上位独占

皆さんこんにちは、今年度も十月になり、既に六ヶ月を経過しました。近年は各種災害が多く、昨年の広島の中豪雨、御嶽山の噴火等に引き続き、今年も、九月の東日本豪雨により鬼怒川沿いでは広い地域で大きな被害を受けました。突然の惨事に避難が間に合わず、多くの方がそのまま孤立した家屋に取り残される状態が生じました。皆さんも映像で見られたでしょうか、孤立した人々をへりによるリベリングで一人ずつ救出するという極めて困難な任務でしたが、多くの人命救助に我々の仲間が命をかけて対応してくれました。九州でも口永良部島の噴火に始まり桜島そして阿蘇山も先月に爆発、大きな噴煙が上がり、多くの火山灰が降りました。今一度防災を所掌する我々も準備態勢の万全を確認した所です。

防衛白書でも指摘されている通り、安全保障上の喫緊の課題は『島嶼防衛』であります。このため『南西諸島への部隊配置』及び『水陸機動団の創設』を計画しています。当駐屯地にも特科大隊が新設予定であり、そのための要員養成を今年から本格的に開始しています。観桜会とともに四月五日にプール開きを実施し、夏場の最盛期には課業前から訓練を開始し練成をさせていただきました。その成果として、多くの隊員が水泳検定一級を獲得し、既に五名が水陸特技を取得することができました。

た。湯布院は寒いですが、十一月まで練成し要員養成を強化する予定です。

ところで、今年も若くて活力ある隊員が湯布院にも多数入隊してくれました。四月四日に入隊式を迎えた五十五名の自衛官候補生は全員一人も欠けることなく卒業し、無事に次の特技課程に巣立って行きました。特科隊の特技教育も今月十一日に終了し、いよいよ部隊勤務を開始しています。来年もこのような有為な人材が多数入隊を希望していただけることを期待していますが、是非とも購読の皆様のお知り合いに适龄者がおられたら、情報提供を宜しくお願い致します。

地域の皆様とも、様々な行事で一緒に過ごして頂きました。『ゆふいん温泉まつり』に始まり、歴史と伝統ある『湯平温泉まつり』、そして抜けるような青空のもと開催された『由布岳山開き祭』では、多くの皆様に音楽部の演奏や豚汁を楽しんで頂いたと思います。先月の『鯉獲祭』では市長さんや隊長さんとも、実盛さんの悪霊退治のため、市内を練り歩きました。SPAマラソンや若宮八幡宮の御神輿支度も整齊と実施できたと思っております。

また、『平和安全法制』の国会審議が五月に始まり、先月中旬ようやく可決されました。今後、法案に基づき、我々陸自の編成・装備及び教育訓練要領も改善が求められることとなります。従来、特措法による派遣を強いられてきた我々としては、付け焼き刃のような訓練から地に足が着いた段階的・計画的な訓練が可能となり、十分な準備の下に任務遂行できるため、大きなリスクの低減に繋がると確信しております。

部隊の方は、大隊や中隊の訓練を主体として実施し、第一三二特科大隊訓練検閲や北方転地訓練でのロケット部隊年次射撃により練度を積み上げてきました。今後の年度後半は、訓練最盛期を迎え、大規模な演習が目白押しとなります。まず、十月には第五地对艦ミサイル連隊の射撃訓練のため米国西海岸へ行ってきました。今年から検閲となり状況下で連隊長・幕僚の指揮幕僚活動を実射の中で検する予定です。射撃も発射機の最大機能発揮に挑戦してきます。また六月を迎える『鎮西演習』は十月中旬に始まり十一月月初旬まで、島嶼部に展開し、海・空自衛隊との統合訓練を焦点に実戦に近い状況で、海・空自衛隊と連携の実を上げる予定です。その他、競技会も昨年同様計画しており、十二月には銃剣道競技会を駐屯地体育館で予定しておりますので、O.Bの皆様は是非とも母隊の応援にお出下さい。

最後になりますが、駐屯地記念行事を十一月十五日(日)に実施します。演習の関係で例年より一月ほど遅い開催となりますが、例年同様観閲式、観閲行進、訓練展示、戦車試乗等を計画しておりますので、多数の皆様のお来場をお待ちしております。それでは、明るく活潑とした駐屯地規律厳正な駐屯地、地域の皆様と共に歩む駐屯地」を合言葉に駐屯地全員で頑張りますので、引き続きご支援ご協力をお願い致します。

# ゆふいんSPAマラソン大会支援!

西部方面特科隊は、九月六日(日)由布市湯布院町内において、第二十五回ゆふいん盆地SPA健康マラソン大会を二十六名の隊員により給水・通信・患者搬送支援を行いました。

大会当日、朝から降り続いていた雨も十一時のスタート時には上がり、蒸し暑い天候の中、県内外から訪れた約一四〇〇名の参加者が秋の訪れが感じられる湯布院盆地を疾走しました。



選手の中には仮装して参加する選手や、八〇歳を超える高齢者もエントリーするなどそれぞれが大会を楽しみ中、駐屯地からも特科隊長をはじめ、多くの隊員が参加しました。中でも第一三二特科大隊の三浦三曹が5kmの部で優勝し、10kmの部で第2位、3位、4位に入賞する等上位を独占しました。コース上で配置に付いた支援隊員らは、与えられた任務を整齐と行い、大会の競技運営に貢献しました。

# 駐屯地曹友会

## 由布岳清掃クリーン作戦

湯布院駐屯地曹友会は、五月九日(土)に由布岳清掃クリーン作戦を実施しました。

由布岳山開きに伴い登山口周辺の清掃活動を行い環境美化に努め隊員の融和団結を図ることができました。

当日は、由布岳登山口に集まり、湯布院駐屯地曹友会長の挨拶の後、二個グループに分かれ約六kmの距離を歩きながらゴミを収集しました。また、雨の中、駐屯地最先任上級曹長を含む三十六名の協力で軽トラック一台分のゴミを収集し、無事終えることができました。

今後も会員との繋がりを大事に積極的にボランティア活動に参加していきたいと思えます。



## 心に残る、ふるさとの祭りを支援

湯布院駐屯地曹友会は、九月十二日(土)及び十四日(月)の両日、湯布院町の若宮八幡社秋祭りを曹友会長及び町内在任の分会員二十六名で支援しました。

このお祭りは、例年乙丸自治区と若宮八幡社の主催で行われている歴史と伝統あるお祭りですが、近年、地区の高齢化に伴い御神輿の担ぎ手が減少し、平成二十三年より駐屯地からも支援を行っています。

当日は、秋の気配が感じられる湯布院町内を二基の御神輿で約2kmを練り歩き、地域の皆さんと親睦を深めることができました。



# 晴天のもと盆踊りを開催

湯布院駐屯地は、八月五日(水)駐屯地納涼大会を開催しました。

当初、西部方面特科隊音楽部の演奏が行われ、午後六時、駐屯地曹友会会長の開会宣言に続き、駐屯地司令及び湯布院駐屯地後援会長(岩男裕二郎氏)が挨拶をし、納涼大会が幕を開けました。

納涼大会は、ご当地アイドル「ダイブツ!」の華やかなステージで始まり、「大分県立由布高等学校郷土芸能部」による迫力満点の神楽で観客を魅了し、納涼大会名物となった二部隊対抗盆踊りが始まると、各部隊はプラカードを先頭に仮装など工夫を凝らした演出で踊り、会場を沸かせました。

最後に、並柳地区の「くどき」に合わせ総踊りが始まると、やぐらを中心に二重、三重の踊りの輪ができ会場は最高の盛り上がりを見せました。

今年は久し振りの晴天に恵まれ、由布岳も最後まで雄々しい姿を見せ、納涼大会は盛会のうちに終了しました。

## ゆふいん盆地まつり支援!

湯布院駐屯地は、八月十五日(土)由布市湯布院町で行われた、ゆふいん盆地まつりを駐屯地司令以下二十名で支援しました。

このまつりでは、五穀豊穡を祈願した虫追いの行事「蝗穰祭」が行われ、サラシに足袋姿で松明や旗を持ち、地域の人達と一緒に町内中心部を練り歩きました。

フィナーレには、城橋の下に設けられた会場で、太鼓の音が響き渡る中、大松明が灯され、五穀豊穡を願いました。



総踊り [くどき] 音楽部による演奏 部隊踊り

幻想的なフィナーレ



# 西部方面特科隊

## 全隊員が一致団結、あらゆる困難を克服し、任務達成！

西部方面特科隊(三宅 優一等陸佐)は六月一日(月)から六月四日(木)の間、日出生台演習場及び十文字演習場において、第一三三特科大隊は「高嶽作戦」におけるM.L.R.S.大隊の行動、第三〇二観測中隊は「高嶽作戦」における観測中隊の行動を検閲課題として、平成二十七年第一三三特科大隊及び第三〇二観測中隊の行動を検閲を実施しました。

この際、「状況に応ずる指揮・幕僚活動」、「部隊の基本的行動」、「隊員の基礎動作」を主要検閲項目として検閲を実施し、第一三三特科大隊長 堀 二佐及び第三〇二観測中隊長 西 三佐を核心として戦闘の終始を通じて任務を遂行、敵の航空攻撃及び遊撃活動に対処して健在性を保持するとともに、火力戦闘に資する目標情報を獲得し、迅速・正確な射撃によりその任務を達成しました。



隊容検査



射撃任務



陣地偵察

### 実弾射撃訓練の 練度向上を図る！

西部方面特科隊(三宅 優一等陸佐)は、六月十五日(日)から七月三日(金)の間、平成二十七年度ロケット部隊年次射撃訓練を行いました。

訓練は、人員約三百名・車両等約二百両の編成で、六月十五日(月)から四回梯隊に分かれ各梯隊ごと長距離機動訓練から始まり、陸路・海路・空路において、北海道矢白別演習場へ移動しました。

二十三日(火)全隊員が演習場に到着し、実弾射撃訓練陣地の偵察や実弾射撃訓練準備を夜を徹して行い、翌日、二十四日(水)に隊員が実弾射撃訓練を行い、二十五日(木)に実弾射撃訓練検閲が行われ、射撃練度の向上を図るべく、全隊員が一丸となり、実弾射撃訓練における基本的行動及び基本基礎を確立し、全隊員が定した射撃で所望の成果を獲得しました。

二十七日(土)から再び長距離機動訓練を開始し、七月三日(金)無事湯布院駐屯地に全隊員が到着し、本訓練を終了しました。



## 本部中隊

### 任務の完遂、生き残れ！

本部中隊 縫田茂一等陸尉)は四月二十日(月)から二十二日(水)の間、十文字演習場において、「作戦内陸部」における中隊内通信小隊の行動について、平成二十七年本部中隊通信小隊隊訓練検閲を二夜三日にわたり実施しました。

統裁官の要望事項「各級指揮官の確実な指揮」、「部隊の基本的行動」、「隊員の基礎動作」、「安全管理」を忠実に実行し、小隊長(小隊 陸曹)を核心として、陣地到着後、速やかに警戒行動を実施し、その後、指揮所を開設し、有線、無線、搬送それぞれ昼夜間を問わず敵を認識した行動を一隊員まで徹底し構成完了時刻までに全回線完了し、任務達成する事が出来ました。



有線橋成

## 第112特科大隊

### 米国における統合訓練に参加

第一二二特科大隊(山本 英一郎二等陸佐)は、七月中旬から九月中旬にかけて、アメリカ合衆国カリフォルニア州で実施された「ドーン・ブリッツ2015」に人員十九名で参加しました。

本訓練は米海兵隊及び米海軍、陸上自衛隊航空部隊等との共同訓練(実動訓練)であり、島嶼侵攻対処に係る諸職種共同要領、統合運用要領及び米軍との共同対処要領を演練し、その能力の維持・向上を図るというもので、今回で二回目の参加となり、今後も、必要な職能の習得に努め、将来の西部方面隊の新しい役割に向け大きな成果となりました。



## 第302観測中隊

### 北の大地で検閲

第三〇二観測中隊(西 秀弘三等陸佐)は、矢白別演習場において、平成二十七年年度測量火器標定小隊及びレダ標定小隊の訓練検閲を六月二十二日(月)から二十三日(火)にかけて、「高嶽」における観測中隊内、標定小隊の行動について「部隊の基本的行動」、「隊員の基礎動作」各級指揮官の指揮を主要検閲項目として実施しました。



陣地測量

## 第132特科大隊

### 目標達成のために日々練成

第一三二特科大隊(箱 貴博二等陸佐)は、七月より大隊水泳集中練成訓練期間とし、泳力及び体力の向上を図りました。

この間、隊員が水泳検定に積極的に参加し、その練度を確実なものとして、水陸両用にも、水陸両用基本訓練課程履修前に隊員を参加させ、洋上生存術の技能者の養成を図りました。



400mを目指し！

立ち泳ぎ 目標 5分！

# 駐屯地業務隊

## 集中豪雨による日出生台

### 演習場廠舎地区災害復旧整備

七月八日(水)及び七月十四日(火)の両日、短時間集中豪雨が発生し、演習場廠舎地区道路等が洗掘され通行不能状態となり、また、演習場に隣接した県道へ土砂が流出した。このため、県道の消掃及び道路の応急復旧並びに、再発防止のための水路の整備を実施しました。

更に、今後、予想される集中豪雨対策のため、業務隊総動員による土壘八〇〇体の作成、演習場管理班による土壘積み及びドラム缶暗渠の設置等を業務隊長の指揮により実施しました。



## 演習場関連行事

七月十七日(金)、第三十七回日出生台演習場監視役務者会議を実施して日出生台演習場監視役務者と演習場調整会議(各期一回)を実施して、演習場の長期安定使用に資する情報交換等を実施しました。



業務隊長による説明



会議の状況

## 大規模災害等における派遣隊員の留守家族支援に関する父兄会との協定書締結

五月九日(土)、平成二十七年年度由布市父兄会総会後、大規模災害時に部外団体が行う家族支援について、厚生科が経緯や内容等を父兄会に説明し、大分地方協力本部長を立会者として由布市父兄会長と業務隊長が協定書の締結を実施しました。



父兄会における厚生科の説明



父兄会長との協定書の締結

## 災害対処訓練

六月二十五日(木)及び七月三日(金)、災害発生時を想定した発電機による電源の応急復旧・夜間、停電を想定した緊急登庁支援施設の開設・医務室の機能回復及び糧食の交付訓練を実施して、災害対処計画の実効性を向上させました。



本部庁舎電源切替盤への発電機繋ぎ込み



緊急登庁支援施設の開設



隊員食堂電源切替盤への発電機繋ぎ込み

## 流しそうめん

今年も八月十八日(火)から八月三十一日(月)までの間、糧食班は、駐屯地の夏の風物詩「期間限定の流しそうめん」を行いました。この間、駐屯地司令をはじめ、多数の隊員が楽しく、涼しげに舌鼓をうっていました。

これからも、「涼のある空間」の提供をしていきます。



駐屯地の夏の風物詩

### 第一〇一特科直接支援隊

#### 台風之余波の中、任務遂行！

第一〇一特科直接支援隊(松井健一二等陸佐)は、五月十一日(月)から五月十九日(火)までの間、日出生台演習場及び十文字演習場において、第二次隊訓練を実施しました。

今訓練は九月に実施される隊検閲及び小隊検閲に向け、野外における部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について演練し、練度向上を図るとともに、特に定期異動に伴う勤務交代者に対し、SOPの確認徹底を図ることを目的として行いました。

訓練は日出生台演習場及び十文字演習場という好立地好条件の訓練場所及び、台風六号の影響による強風と雨等の天候に恵まれ、状況開始から支援施設開設、警戒命令・予行、野外における装備品の整備回収等、一連の状況に対応する中で、検閲に向け必要な物資等を確認するとともに、SOPの確認徹底という目的を達成しました。



### 第三六八施設中隊



群訓練検閲



南スーダン派遣施設隊

日出生台演習場定期整備

第三六八施設中隊(原田寛樹一等陸尉)は、七月二日(木)から八日(水)まで、群訓練検閲を受閲しました。中隊全員が任務遂行に対する強い意志を持って取り組み、自走架柱橋により、遠賀川及び宝満川の二箇所に橋梁を架設し、中隊本部は指揮所、炊事所の開設・運営を実施、降雨による河川の水位上昇の懸念もありましたが、日頃の訓練成果、中隊の団結力を遺憾なく発揮して所定の時期までに任務を完遂させました。

この他、四月の春季日出生台演習場定期整備においては訓練部隊が演習で使用した道路の補修等々、持ち前の施設技術能力をもって演習場の長期安定使用に貢献し、五月の大分弾薬支処整備では灌漑の浸透工事を通して大分弾薬支処のニーズに合致する整備を実施できました。

今年度は、南スーダン派遣施設隊として中隊から九名の隊員が日本を出国しました。現地では道路などのライフライン整備、復興支援を実施しています。今後も引き続き訓練、演習場整備が予定されていますが、「団結」「所懸命」で中隊は任務にまい進します。

#### 中隊の団結力を見せる！



第三〇四基地通信中隊(湯布院陸隊(花山幸則三等陸尉)は、八月二十一(日)から二十五(火)の間、湯布院駐屯地において、平成二十七年度西部方面通信群演習に参加しました。

この際、「各級指揮官の指揮」「各部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作」「警戒・警備」「ユーザーニーズへの対応」を主要訓練項目として実施されました。

この間、演習後半には、台風十五号の影響もある中で、特科隊指揮所の増設に伴う通信回線構成を統裁官である西部方面通信群長に確認してもらうなど、サイバー対処、グリコマ対処などの様々な状況を隊員一丸となり克服し、任務を完遂しました。



#### 少数精鋭！

### 第三〇四基地通信中隊

南スーダン派遣施設隊がアフリカの地で活躍中！

平成二十七年 前期定期異動

新部隊長紹介

本部長 中隊長 (特科隊本部) 一等陸尉 成迫 隆徳

転入者の紹介

本部長 中隊長 (第五陸曹教育隊) (定通) 曹長 曹長 失野 和樹

第一二二特科大隊

(自衛隊熊本病院) (形念) 二曹 河野 行宏

第一三二特科大隊

(第一特科連隊) (北郷士) 三曹 濱田 越夫

第一〇一特科直接支援隊

(第九六全隊支援大隊) (皇國) 一曹 衛藤 弘

駐屯地業務隊

(第五地対空飛行連隊) (皇軍) 一曹 平井 光弘

第三〇四基地通信中隊

(中央機務シテヘ通信隊) (市念) 二曹 藤田 辰徳

特科隊本部

(第四特科連隊) (皇米) 三佐 川崎 彰彦

定期昇任者

准尉 穴井 二雄 (幹部候補生学校(前川)) 一曹 森山 良二

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 青木 卓也

第一二二特科大隊 二等陸尉 松本 和生

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 田久保大樹

第三〇四基地通信中隊 一等陸尉 川野 和哉

第一〇三施設直接支援隊 一等陸尉 宮田 政也

駐屯地業務隊 一等陸尉 松本健太郎

三等陸尉 出利葉政志

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 下村 英治

准陸尉 麻生 敏正

第三〇二観測中隊 一等陸尉 池田 正広

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 村上 宏之

本部中隊 一等陸尉 江渡 和徳

第一二二特科大隊 一等陸尉 川畑 勝義

第一三二特科大隊 一等陸尉 吉田 俊雄

第一三二特科大隊 一等陸尉 小野 道泰

第三〇二観測中隊 一等陸尉 松本 義明

第三六八施設中隊 一等陸尉 岩本 衛

駐屯地業務隊 一等陸尉 池邊 達也

本部中隊 一等陸尉 梅尾 聖一

第一三三特科大隊 一等陸尉 島田 秀和

本部中隊 一等陸尉 高橋 慎明

定期表彰者

★總監表彰 (三級賞詞(職務遂行)) 本部長 三佐 川崎 彰彦

★三級賞詞(職務遂行) 本部中隊 一尉 縫田 茂

第三〇二観測中隊 一等陸尉 小才 真司

第三六八施設中隊 一等陸尉 武内 政憲

第一三三特科大隊 一等陸尉 小森 賢市

第一三四地区警務隊 一等陸尉 永山 貴士

本部中隊 一等陸尉 生野 祥浩

第一二二特科大隊 一等陸尉 内村 健二

第一三三特科大隊 一等陸尉 田上 公平

第三〇二観測中隊 一等陸尉 伊藤 徳高

第一〇三施設直接支援隊 一等陸尉 野上 道泰

駐屯地業務隊 一等陸尉 相沢 雄太

第三六八施設中隊 一等陸尉 菊池 健司

本部中隊 一等陸尉 矢野 智宏

第一二二特科大隊 一等陸尉 藤原 亜衣

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 渡辺 春樹

第一二二特科大隊 一等陸尉 佐藤 嘉希

第一三二特科大隊 一等陸尉 工藤 雅夫

第一三二特科大隊 一等陸尉 増野 恭教

第一三二特科大隊 一等陸尉 吉田 隆

第一三二特科大隊 一等陸尉 小野 秀矩

第三〇二観測中隊 一等陸尉 松本 明博

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 玉置健太郎

五級賞詞(職務遂行)

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 曹長 曹長 松林 和幸

第一二二特科大隊 一等陸尉 後藤 哲美

第一三二特科大隊 一等陸尉 月足 好春

第一三二特科大隊 一等陸尉 田吹 弘太

第一三二特科大隊 一等陸尉 佐藤 政樹

第一三二特科大隊 一等陸尉 村上 宏之

第一三二特科大隊 一等陸尉 中村 浩二

第一三二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 東田 竜幸

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 曹長 曹長 津崎 崇

第三六八施設中隊 一等陸尉 曹長 曹長 奈良進一郎

駐屯地業務隊 一等陸尉 曹長 曹長 後藤 克成

第三〇四基地通信中隊 一等陸尉 曹長 曹長 森山 良二

第三〇四基地通信中隊 一等陸尉 曹長 曹長 蛇原 辰彦

第五級賞詞(建勲) 第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 三曹 岡本 光康

慶弔

結婚おめでとう

第一三三特科大隊 一等陸尉 三曹 倉吉 瑞美

駐屯地業務隊 一等陸尉 准尉 穴井 二雄

駐屯地業務隊 一等陸尉 行(三) 吉村 光男

駐屯地業務隊 一等陸尉 曹長 曹長 山田 守相

本部中隊 一等陸尉 曹長 曹長 熊田 源季

第一二二特科大隊 一等陸尉 一士 江本 匡弥

第四級賞詞(職務遂行) 本部中隊 一士 小石川和秀

本部中隊 二等陸尉 曹長 曹長 田中 栄造

第一二二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 下村 孝弘

第一二二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 工藤 将敬

第一二二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 公洋

第一二二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 田中 栄造

第一二二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 正敏

第三〇二観測中隊 一等陸尉 曹長 曹長 富田 正敏

第三〇二観測中隊 一等陸尉 曹長 曹長 相沢 博史

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 曹長 曹長 名古史志

第一〇一特科直接支援隊 一等陸尉 曹長 曹長 藤本 真己

第三六八施設中隊 一等陸尉 曹長 曹長 永井 幸成

第一二二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 後藤 哲美

第一三二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 月足 好春

第一三二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 田吹 弘太

第一三二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 佐藤 政樹

第一三二特科大隊 一等陸尉 曹長 曹長 村上 宏之

退官者紹介

第一〇三施設直接支援大隊 (退官日) 六月十一日 陸曹長 丹部 弘勝

第三〇二観測中隊 (退官日) 五月十日 陸曹長 山内 義幸

第一二二特科大隊 (退官日) 七月十一日 陸曹長 竹上 秀徳

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

本部中隊 (退官日) 六月十一日 一等陸曹 押川 彰秀

# みんなの投稿広場

## ♪か趣味

私の趣味、それはゴルフです。ゴルフ経験は、それほど長くはありませんが、学生時代に野球をやっていた事もあり、飛距離には自信があったので、抵抗なくゴルフを楽しむスポーツだと思いついていました。しかし現実はそのようではありませんでした。クラブを握り、打つても真っ直ぐに白球は飛んでくれませんでした。白球は右に左にあらゆる方向へ飛んで行き、このスポーツの難しさを改めて痛感しました。ボールと体の距離、グリップの握り、足の幅、顔の位置、距離に応じたクラブの選択とこれらの動作が一つでも欠ければ、ナイスショットは成立しません。その難しさの中で打球が真っ直ぐ飛んだ時の快感、クラブが白球を芯でとらえた時の感覚はそう何度も味わえない感覚ではありますが、最高の瞬間です。コースの芝が一面グリーンで染まる絶景、汗をかきながら四苦八苦

しボールを追いかけ、素晴らしいコースロケーションでプレーできる喜びを是非皆さんも味わってはいかがでしょうか？

第三〇四基地通信中隊  
湯布院派遣隊  
三曹 吉田 敏宏



## わたしの宝物

私には、高校三年生と中学一年生の娘がいます。高校三年生の娘は、私と同じ「看護師になりたい」と頭張っています。母親の背中を確実に見ているのだなと背筋が伸びる思いです。そもそも私が看護師を目指した理由は、病弱な両親の入院に付き添ったこと、不安で泣きそうになっていた私を励ましてくれたのがその時に看護士になってくれた看護師さん達です。気弱になっていた両親も子供の私も精神的に元気になり「私もそんな看護師になりたい」と強く思ったのがきっかけです。娘も今、昔の私のように夢を持ち、小さな一歩を踏み出すようとしています。「看護学生になったら、ビシビシ指導するからね」と可愛いわざわいできるのを楽しみにしています。

しみじみしているところです。中学一年生の娘は、動物が大好きで動物園で働きたいと言っています。我が家はカメを飼っており、飼育担当をしています。カメへの愛情と観察力は誰にも負けません。今日も仕事を頑張るとバウをくれる二人の娘は私の大事な宝物です。大人になったら一緒にお酒を酌み交わりたいと密かに楽しみにしています。

駐屯地業務隊 衛生科長  
一尉 川島 美佳



## はじめてのキャンプ

夏休みがはじまってすぐに家族でキャンプに行きました。お父さんとお母さんはお仕事でたまにキャンプに行くから嫌だと言っていたけど、何度もお願いして連れて行ってもらいました。

キャンプ場では大きなカブトムシがいてびっくりしました。木の上のおうちで遊んだり、プランコに乗ったりしました。夜はパーベキューと花火をしました。妹が途中で熱が出たので、一緒に花火はできなかつたけど、とても楽し

## 我が家の宝物

七月十三日に待望の一人目が誕生しました。上が男の子、今回誕生した子は女の子、自分にとっては理想的でした。前もそうでしたが、分娩室に入ってからあつという間の誕生でした。昨年は残念ながら流産してしまい、妻はとも落ち込み、当時はかける言葉がみつからない状態でしたが、それを乗り越えての誕生だったので喜びも、とても大きくなったと思います。また、生後間もない乳児の殺害など、いたたまれないニュースを目撃しますが、とても理解に苦しみます。また、出産した病院ではそこで誕生した赤ちゃんの写真がたくさん貼ってあります。



第一〇二特科直接支援隊  
三曹 山野麻紀子  
長女 真歩

## 検閲に参加して

私は、第三〇四基地通信中隊湯布院派遣隊の一員として、八月二十一日から二十五日までの間、総監検閲を受閲しました。普段から、電報処理や電話交換、回線工事等を行っています。検閲期間でもそれは変わりません。検閲に力を入れつつも実業務におけるユーザニーズ優先で対応できたと思います。また、この5日間、回線



日間は、回線

## うちの父さん

私たちは、昨年の三月に静岡から大分に引っ越してきました。その一年後にお父さんが帰ってきました。お父さんがいなかった一年間は、とてもさみしかったです。静岡には五年間住んでいて、その間、お父さんは東京や仙台に通って行っていました。とても楽しかったです。普段は、洗濯などの家のことをしてくれて、私たちの部活や習い事の送り迎えをしてくれるいいお父さんです。そんなお父さんは今、芸人の「とにかく明るい安村」さんのものをまねをする



第三六八施設中隊  
三曹 村上 洋史

## 結婚しました

今年の七月一日付で三等陸曹に昇任する事が出来ました。人よりも涙もろく陸曹になるまでに嬉し涙や悲し涙



悔し涙を流しました。その度未熟な私を部隊の先輩方、陸曹教育隊の教育者が叱咤激励してくださり、また、陸士を育成する為に必要な熱意と本當の思いやりを教えてくださいました。無事に陸曹に成る事が出来ました。陸曹になった今、いよいよこれからという新鮮な気持ちと同時に、この先にある責任に怯えているのが正直な心境です。しかし、大切な自分自身を忘れて、率先行動に努めるひたむきな陸曹になりたいと思っています。日々精進していきたいと思っています。私が陸士だった頃を思い出して、後輩の心を思いやり、何時でも駆けつける様な頼りがいのある陸曹をめざして、日々はしっかりと笑顔で頑張ります。

第三〇二観測中隊  
三曹 上村 晃子

## 結婚しました

昨年の十二月二十五日に入籍し幸せな結婚生活も半年となりました。妻との生活は、職場の上司からの紹介でしたが、最初に会って話した時からとても相性が合い、お互い意気投合して楽しく交際がスタートしました。妻の実家は、スイカとミカン農業をしていて、近隣でもとても良い物を作っている優れた農家としても有名です。妻はその働き手だったので、交際期間を得るため、自分も一緒に農作業のが好きで、私たちが笑わせてくれます。私たちは、そんなお父さんが大好きです。

第一二二特科大隊第二中隊  
二曹 峰尾 幸治  
長女 真緒

現在は、宿舎に入居して結婚生活を送っており、妻も宿舎での生活に満足しています。来年には、新しい家族も増える予定なので、今その準備に迫っています。私は、この幸せがいっつもでも続々続にしっかりと勤務し、良き夫であり続けるのと同時に良き父親になれる様に今後も努力していきます。

第一三二特科大隊第一中隊  
三曹 中濱 兼真

